

令和6年12月2日 一般質問
【令和6年11月定例会】

日頃より、やしま浩久の議員活動にご支援とご理解を賜り、心より感謝しお礼申し上げます。

昨年の元日に能登半島地震が発生し、県内でも多くの地域が被災、またかつてない液状化による被害で、さらに復旧・復興の道を険しくしています。時間を要しますが風化させず、被災者・被災地に寄り添ってまいりたいと思います。

安全・安心・生命・財産を守り、より豊かな生活にすることが政治の根幹であり責任です。災害・経済・生活など困難は、いつでも起こり得るとの認識を持ち、油断する事なく誠実に今年1年を過ごしたいと思います。

富山県では昨年、新田知事が再選し、政治的には安定を確保されていますが、一方、アメリカではトランプ大統領が就任となり、石破内閣（少数与党）になってからは初めての当初予算の編成であり、大変化の年度になると予想されています。

令和7（2025）年度県議会においても、折り返しの2年を迎えます。『諸行無常』私自身、教育警務委員長の任期が終わるため常任委員会の所属変更等があり、変化する年度となります。

さてこの度、令和7（2025）年度の年始にあたり、前年1年間の議会活動を取りまとめ、県政の報告をさせていただきました。県議会のオープン化はとても重要であり、是非ご一読いただけると幸いです。毎回伝えておりますが、航海は生き物、荒波も乗り越え次への挑戦を誓い、また新たな航海に向けて緊張感を持ち全力を注いで行きます。

最後になりますが、今年は『巳年』蛇は何度も脱皮することで、成長、再生、新しく生まれ変わると解説されています。皆様に『巳年』のご加護があらんことを祈り、素晴らしい1年をお過ごしいただきますよう心から願いまして、発刊のご挨拶と致します。

令和7年2月 やしま 浩久

2月定例会(予算特別委員会)

『地域ふるさとビジョン』より
「個と公」の調和型社会の実現について



〔質問〕 県施設が多く所在する海王丸パークを中心とした、新湊大橋東西エリアの早期復旧と復興は、どのように取り組むのか。

〈新田知事〉 国の災害査定を経て準備が整ったものから順次、復旧工事を発注する。富山湾岸サイクリングや富山マラソン等の開催も予定されているほか、5万t級のクルーズ船受入れに向けた調査も進めており、民間活力導入検討も実施し、射水市と連携協力しながらエリアの魅力向上に努める。



▲射水市内における地震被害の様子

〔質問〕 地震発生時の道路隆起や陥没箇所の多発を想定し、平時から予算措置を行い、道路安全確保のための資材備蓄をすべきと考えるが、所見は。

〈市井土木部長〉 今回の地震では県で備蓄している資機材を用いて、順次安全確保の措置を行ったが、不足したため、代替品を用いたり民間企業の資機材も活用したりと工夫した。今後、災害対応の基本として災害協定を締結している建設関係団体の協力も得ながら、平時からの資材備蓄に努める。

〔質問〕 今年の富山マラソン実施に向けた影響はあるのか。マラソンコース内の被害程度と、大会実施に向けた影響はどうか。

〈廣島生活環境文化部長〉 新湊漁協内の約700mの区間において、道路等に沈下や損傷している箇所が複

※令和6年1月1日に能登半島地震が発生し、富山県でも大きな被害を蒙った。射水市においても、海王丸パークをはじめ、新湊大橋東西の湾岸エリアにおいても大きな被害が発生した。

数あり、当該箇所の大会開催日までの確実な復旧が見通せない状態であり、当該区間通過部分を少し南の方に迂回する代替コースについて検討している。マラソン大会が予定通り開催できるよう、引き続き関係機関と調整を図っていく。

『豊かな暮らしビジョン』より

安全・安心を基盤とした豊かな暮らしの実現について



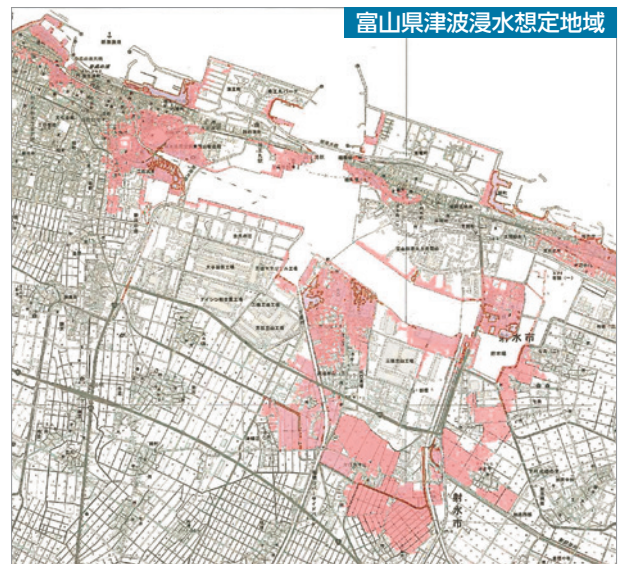
〔質問〕 災害弱者の逃げ遅れ防止が課題となっているが、どのように取り組むのか。

（※補足） 障がい者や傷病者、妊婦、乳幼児、日本語が分からない外国人、地理に明るくない観光客、SNSを利用しない高齢者等、災害発生時に身体等にハンデがある方、情報入手が困難な方を、「災害弱者」と呼ぶ。

〈武隈危機管理局长〉 個別避難計画の窓口となる市町村の支援に積極的に取り組んでいるほか、県のホームページ上で「逃げなきゃコール」等のサービスを周知している。新年度においては、視覚障がい者のための「耳で聞くハザードマップ」の提供や、外国人や観光客のためのデジタル媒体を活用した情報発信等、伝達手段の多重化・多様化を図り、逃げ遅れ防止に努めていく。

〔質問〕 津波到達時の垂直避難候補地として、公共施設のみでは限りがあるため民間施設と協定締結を行い、ハザードマップにも明示すべきと考えるが、所見は。

〈武隈危機管理局长〉 県内の沿岸市町では、津波避難ビルとして52箇所（うち、民間施設は31箇所）を指定しており、津波ハザードマップにも明示している。津波避難場所の追加は市町村単位で検討することになっているが、ワンチーム会議内において専門家の意見も聞きながら、有効な津波対策について協議していく。



平成28年作成

(出典：富山県ホームページ)

[質問] 県有施設の垂直避難場所において、休日や夜間等の無人時に災害が発生した場合でも、迅速な開設ができるように、施設開錠方法の簡素化や蹴破り戸の整備等も進めるべきと考えるが、所見は。

〈新田知事〉新年度に「ワンチームとやま」連携推進項目として、避難所の開錠方法についても検討する。また、平時のセキュリティも確保しつつ、有事の際に迅速で確実な開錠が出来るよう、ハード・ソフト両面で様々な対応策を検討し、マニュアルの見直しや施設設備の改善につなげていく。

[質問] 令和6年1月10日付で厚生労働省及びこども家庭庁から石川県の社会福祉施設等に対する介護職員等の派遣依頼が各都道府県に発出されたが、派遣状況や運用上の課題について問う。

〈有賀厚生部長〉国の通知に基づいて全社協の災害福祉支援ネットワークと厚労省において、全国からの派遣希望者を一元的に集約・管理し、調整されるものであり、本県からは2月15日時点で67名が派遣されている。運用上の課題については、取りまとめに時間がかかり、計画的な勤務シフトが組みにくく、災害救助費も速やかに支弁されない等がある。

『産業ビジョン』より 「国際化」を見据えた産業振興について



[質問] 介護人材確保に向けた取り組みを新年度ではどのように進めるのか。また導入経緯や期待する効果や目標などの所見は。

〈有賀厚生部長〉新年度予算では、小中学生対象の魅力発信を行う市町村への支援、高校生対象の有償インターンシップの実施、地域の人材掘り起こしや外国人技能者への一体的サポート体制の構築等を行い、介護人材の定着と参入促進に取り組む。また、職場環境の改善を目標として、ワンストップ型の支援体制整備や介護ロボット、ICTの導入、通信環境の整備等も進める。

[質問] 受験者の利便性向上のため、介護福祉士の国家試験を富山県で開催すべきと考えるが、所見は。

〈有賀厚生部長〉現在、県内関係機関より要望は寄せられておらず、厚生労働大臣指定の試験期間である（公財）社会福祉振興試験センターの考えとしては、現在は受験申込者の規模や会場、交通利便性などの条件を勘案しており、受験申込者の減少傾向もあり、新たに受験会場を増やす予定はないとのことであった。

[質問] 近年の県内中小企業の後継者不在を理由とした倒産・廃業の状況を踏まえ、今後の取り組みは。

〈新田知事〉2023年の県内企業倒産は78件で、うち9件が代表者の死去や病気療養によるものだった。また、県内企業の約4割程度で後継者が未定だという調査結果もある。事業継承を強力に推し進めることが重要であり、県ではこれまでもセミナー開催やマッチング支援、ネットワークの構築等、事業承継に関する施策を様々行っており、一部では成果も出始めている。これからも官民間問わずネットワーク間の連携をさらに強化し、事業承継を1件たりとも漏らさない体制強化に努めていく。



[質問] 県外で開催する物産展は、富山県魅力発信を通じた観光誘客や復興支援として、特に海なし県での開催は非常に効果があり、新年度はどのように取り組むのか。

〈竹内地方創生局長〉新年度は大阪に「北陸プラス」という情報発信拠点を開設し、関西圏からの誘客を図っていく予定であり、物産展では、アクセスや人口規模



等を多角的に検討し、ターゲットを見定めて開催していく。引き続き、富山の魅力を発信することで観光誘客、ひいては関係人口の拡大に取り組んでいく。

[質問] 富山と奥能登の地形は世界的な観光地であるイタリアナポリ湾とソレント半島にも類似しており、奥能登地域における創造的復興の一助として、富山と奥能登を海路によって結ぶ新たな広域観光の創出に向けて、石川県と協働で実施を検討してはどうか。

〈竹内地方創生局長〉富山県と能登エリアは、地理的な近さに加えて、歴史的にも深いつながりがある地域である。富山と能登の交流の歴史も観光資源として活用することで、富山県の滞在周遊観光をこれまで以上に促進できるよう、石川県や地域交通観光事業者等と連携して準備を進める。

特別委員会

2月定例会

ブランディング対策特別委員会

観光船をはじめとする内川周辺の魅力発信とブランド化について

〈八嶋〉内川周辺の魅力発信とブランド化を進め、観光客・関係人口増、ひいては長期滞在型の旅行誘客の獲得に取り組むべきと考えるが、所見は。

〈宮崎観光振興室長〉 これまでも、映画等の誘致を行い、店舗改装や町家改修に係る資金支援、ナイトクルーズの企画を行い、観光客や事業者、旅行会社から好評を得ている。官公庁に選定された北陸3県の「地方における高付加価値なインバウンド観光地」として、今後とも射水市や関係事業者を支援し、魅力発信に協力していく。

祭り(獅子舞)のブランディング化による賑わいの創出について

〈八嶋〉獅子舞にはエンターテインメント性があり、曳山と比べても機動性もある。また、地域の若者の絆づくりにも一役貢献すると考えるが、県内各地に残る獅子舞祭りのブランディングに取り組んではどうか。

〈宮崎観光振興室長〉 本県の獅子舞は約850件実施されているとも言われ、全国屈指の伝承数を誇っている。しかし、コロナ禍を経て担い手不足が進み、獅子舞を復活できない地区も出てきている。県では獅子舞をインバウンド向けの観光資源として、収益性を持たせ祭りの継承に活用していく仕組みづくりを企画しており、官公庁に補助採択の申請をしている。今後も、市町村や地元継承者と共に収益化やブランディング化を更に進め、地域の誇り情勢や絆づくりに努めていく。

令和6年1月29日に満60歳の「還暦」を迎えたことを踏まえ、令和6年2月定例会より今年度は、赤いネクタイを締めて質問に登壇しています。還暦の象徴、赤いちゃんちゃんこの代わりの意味合いですが、赤いネクタイを締めることにより気持ちも新た。情熱もほとばしってきました!



6月定例会(一般質問)

「地域ふるさとビジョン」より「個と公」の調和型社会の実現について



〔質問〕富山湾の海路を利用した能登地域復興支援を石川県とも連携して検討すべきと考えるが、所見は。

〈新田知事〉地震での災害廃棄物一部を海上輸送により本県へ搬入することが計画されており、円滑な受入れに向けて事業者や関係市町村との調整を進めていく。また孤立集落対策として、支援人員や物資の輸送方法等について従来の空路に加えて、海路を活用することも検討する。広義の復興支援として、富山湾を利用した船での観光航路の開発も考えられるので、調査研究を進めていく。



海路で結べば復興支援や観光資源の新たな選択肢となるかも...!?

〔質問〕道路の復旧状況と今後の見通しは。

〈金谷土木部長〉詳細設計が完了し準備が整ったものから順次、工事を発注し復旧を進めている。また、液状化した区域を面的に整備する場合には、市や住民の意向を踏まえて実施時期や内容を判断していく。国の災害復旧事業の対象とならないものについては、県単独道路災害復旧費用を用いて順次対応を進めてきている。完全復旧までには年単位の時間を要するが、引き続き地域の声をよく聞いて、安全で円滑な交通を早期に確保できるよう努める。



〔質問〕工業用水の管路の老朽化更新や耐震化を早急に進める必要があると考えるが、どのように進めるのか、所見を問う。

〈牧野企業局長〉老朽化対策や耐震対策を大幅に強化することとしており、令和6年度は28億円余りの予算を計上している。また、漏水発生時でも供給が継続で

きるよう、工業用水の供給システム全体のリダンダンシー（システムや構造を二重化すること）を高める新たなバイパス幹線管路の整備を検討するなど、工業用水の安定供給に努めていく。

〔質問〕空き家対策「ウェルビーイングを高め、支える住まいの確保事業」について、県民への理解促進が必要と考えるが、所見は。

〈金谷土木部長〉当事業は、県内の住宅メーカーが、町なかの空き家を再販売する際に行う高性能リノベーションに対し、1棟当たり最大200万円の支援を行うものである。また、管理不全空き家への対策として、周囲に著しい影響を与える特定空き家が増えないように市町村と連携をしていく。

〔質問〕令和7年度における県立高校の学級編制方針案についての所見は。

〈広島教育長〉令和20年度の中学卒業予定者は、現在よりも3割減少することを踏まえ、令和7年度以降の学級編成では、継続的に募集定員を減らしていく必要がある。また、具体的な募集定員については、県議会をはじめ様々な意見を教育委員会で総合的に検討し、7月には決定したい。

〔質問〕昨年度実績を踏まえ、婚姻数増加に向けた、とやまマリッジサポートセンター（adoor）の取組みは。

〈川津知事政策局長〉これまでの試行結果も踏まえて、20代までの登録料の無料化実施、ウェブ広告の強化などを通じて、若い世代への浸透を図る。また、サポーターの活動促進のための奨励事業、会員向けの個別相談会の実施等を計画している。このような取組みの効果を幅広く拡大するための「婚活の進め方セミナー」を、幅広い県民の方々を対象に実施する準備を進めており、今後も県内の婚姻数が増加するよう実効的で波及効果のある対策を進める。

『豊かな暮らしビジョン』より
安全・安心を基盤とした豊かな暮らしの実現について



〔質問〕熱中症対策の周知、県民個人への注意喚起、自己防衛の周知が必要と考えるが、所見は。

〈竹内生活環境文化部長〉本年4月に国は気候変動適応法を改正し、熱中症予防や健康被害軽減のための措置を新たに盛り込み、県では公式SNSの活用や一斉メールシステムの構築を行った。熱中症予防や健康被害軽減に向けた確実な行動を県民に促すことが重要であり、より効果的な普及啓発について検討していく。

〔質問〕認知症について、県民への周知や理

解促進に向けた取組みは。

〈有賀厚生部長〉市町村と連携して認知症サポーターの養成に努めるほか、認知症にやさしい地域づくり推進キャンペーンを開催する。キャンペーンでは、クイズやブース展示、VRでの体験シミュレーション等、理解を深められるための工夫を実施していく。また、リハビリ専門職による意識啓発活動や食生活改善講習会を開いたりして、各普及活動に努めていく。



〔質問〕介護施設への入所待機者推移や傾向を踏まえ、今後、待機者解消に向けてどのように取り組むのか。

〈有賀厚生部長〉特別養護老人ホームへの入所待機者は平成25年をピークとして減少傾向にあり、今年3月に策定した第9期介護保険事業支援計画においては、「待機者ゼロを目指して減少させる」ことを目標としている。この目標達成に向けて当計画では、施設の計画的な整備やサービス基盤の充実、小規模多機能型居宅介護事業所の整備推進に取り組むこととしているほか、普及啓発活動や予防活動の充実に取り組む。

『産業ビジョン』より
『国際化』を見据えた産業振興について



〔質問〕若い女性の県外流出が顕著になっている現状打開について、これまでの取組みを踏まえて、どのように進めるのか。

〈新田知事〉経営者の意識が重要であり、官民一体となって女性が活躍できる職場環境づくりに取り組んだほか、中高生を対象とした交流会やワークショップ、企業への伴走支援型コンサル、女性活躍企業の認定等を行い、女性活躍の機運が確実に高まっていると感じている。今年度は県内で活躍する女性社員の動画や就活情報のプッシュ型発信、県外に旅立つ若者に対して「I'm Your Home」プロジェクトの実施、中高生向けの交流会の拡大等、人口減少や、特に若い女性の社会減について考える機会を提供していく。

〔質問〕シロエビやベニズワイガニの不漁について、漁獲量確保に向けた今後の取組みは。

〈津田農林水産部長〉シロエビの漁獲量は前年比13%、平年比22%減少。ベニズワイガニ



は前年比 74%、平年比 50%減少。特に新湊漁港での水揚げが減少しているため、県ではシロエビとベニズワイガニの生息状況を調査しており、富山大学等でも同様の環境調査が行われているので、調査データを共有し活用を図っていく。ブランド海産物の不漁は、様々な分野にも影響することから、早期に調査結果を分析し、漁獲量の回復に努めるとともに、「富山のさかな」の魅力をアピールし、新たなブランド魚の創出にも取り組む。

【質問】今年で「世界で最も美しい湾クラブ」加盟10周年を迎えることを踏まえて、富山湾のブランド価値向上に向けて、どのように行うか。

〈蔵堀副知事〉4月には富山湾サイクリング、8月にはジュニアヨットレースや海に親しむシンポジウム等の記念行事を行い、11月にはモロッコ・ダクラ湾で開催される総会にも出席し、富山湾の魅力を世界に広くPRしていく。また、震災で被害を受けた湾岸の道路、港湾、漁港、マリーナの復旧にも取り組み、クルーズ船誘致に向けた岸壁機能の強化にも着手し、富山湾の魅力の活用や保全活動についての情報発信を積極的に行い、ブランド価値の向上につなげる。



【質問】医薬品産業における不正製造再発防止の徹底と、1兆円産業への育成はどのように行うのか。

〈有賀厚生部長〉GMP（製造管理・品質管理）の調査体制を充実し、指導強化をしてきたが、薬業連合会と連携・協力し、各取組を促進させる必要がある。これまでの経営層講習等の対象を県内企業の従業員まで広げてeラーニング導入に向けた支援を行なっている。また、コンソーシアム（共同事業体）においても専門人材の育成に資するプログラムの構築に取り組んでいる。今後とも大学、薬業連合会と連携して、成長産業への育成に取り組んでいく。

【質問】観光政策における獅子舞の活用、発信と誘客について。

〈竹内地方創生局長〉国内外への発信が重要であり、県の公式サイト「とやま観光ナビ」に特集記事を掲載する等の取組みを行っている。また、観光庁の採択を受けた「祭りを活用したインバウンド需要創出事業」は、その対象を獅子舞にも広げ、県の6月補正予算案に予算を計上した。獅子舞の活用は、保存・継承も重要であり、この事業を通してノウハウも積み重ねていく。



令和6年3月15日 予算特別委員会
【令和6年2月定例会】



11月定例会(一般質問)

【富山八策 88】

富山県成長戦略のテーマ「幸せ人口 1000 万」の実現に向けた八つの重点政策、88の具体策のことで、令和2年より達成へのロードマップを作成し、随時進ちょく状況を確認しながら取り組んでいる。具体的なアクションプランとして「未来に向けた人づくり『八策』」と「新しい社会経済システム『八策』」の2つがある。

『地域ふるさとビジョン』より

「個と公」の調和型社会の実現について



【質問】新しい社会経済システム「八策」に掲げる災害時「ライフライン道路」整備について、これまでの県内主要道路と異なる特徴と、その実現に向けた意気込みは。

〈新田知事〉「ライフライン道路」は応急活動のために、県内各地を結び早急に通行確保すべき道路であり、能登半島地震において確認された新たな課題を踏まえて整備をしていく。具体的には東海北陸自動車道や国道8号の4車線化などの高規格道路ネットワークの強靱化をはじめ、橋梁の耐震化や老朽化対策、各種防災対策を計画的に進め、道路のレジリエンス化に一層努めていく。

【質問】液状化が起こった道路の除雪作業安全確保について、融雪装置の被災状況や復旧状況と併せて問う。

〈金谷土木部長〉事前点検を行い支障箇所は修繕を進めており、とりわけマンホールの蓋については、予め登録しておくことでオペレーターに注意を促すことのできる「除雪機械運行管理システム」の活用を図る。消雪施設被害 68 箇所中、67 箇所は復旧を終えており、残り 1 箇所（高岡市内）は道路陥没の恐れを伴うことから、今冬は機械除雪で対応する。降雪期に消雪施設に不具合が見られた際は、速やかに修繕をするか機械の除雪に切り替えて対応する。

【質問】伏木富山港の港湾計画改定に向けた調査進捗状況と今後の見通しは。

〈金谷土木部長〉港湾計画直近の改訂は平成 11 年であり、港湾を取り巻く環境が当時と大きく変化していることから、令和 6 年度より計画改訂調査に着手した。現在は港湾利用者からアンケートやヒアリングを行っており、年度末を



目途に将来貨物量の推計等を取りまとめる。令和 7 年度からは将来ビジョンの策定や環境への影響調査や効果的な施設配置等の検討を進め、令和 8 年度末を目標に港湾計画を改訂することとしている。今後も国や港湾関係者と連携して取り組む。

【質問】市町村と連携し住宅耐震診断・改修支援拡充を行い、自己負担縮減を行うべきと考えるが、所見は。

〈金谷土木部長〉これまで耐震診断（県が9割負担）や改修の支援（補助限度額 120 万円）を行い、大幅な負担軽減を行っているが、一定規模の自己負担は避けられない状況であり、対象外だった部分改修や簡易改修も補助対象に加え、低コスト工法を普及させるなど、自己負担の軽減につながるよう努めている。耐震改修支援の拡充については、高齢者対象の利子助成制度も含め、調査・研究を行い、市町村の意見も伺いながら、検討を進める。

【質問】県内の観光産業の更なる活性化と、オーバーツーリズム対策について、安定財源確保を含めて問う。

〈田中地方創生局長〉県では観光消費額を重要な目標としており、「持続可能な観光地域づくり」施策を大きな柱としている。そのためには観光客の受入れと地域住民生活の質の確保が重要である。高付加価値旅行者の誘客促進とともに、人材育成やDX化など受入環境整備の支援などを通して、持続可能な観光地域づくりに取り組む。また、安定財源確保は課題であり、他県の実施状況や検討状況に注視しながら取り組んでいく。

『豊かな暮らしビジョン』より

安全・安心を基盤とした豊かな暮らしの実現について



【質問】新しい社会経済システム「八策」に掲げる「安全・安心なまちづくり」について、学校通学路の安全確保に向けてはどのように取り組み、その意気込みは。

〈新田知事〉市町村が定める「通学路交通安全プログラム」に基づいて、定期的に各機関の関係者が合同点検を行っている。点検で判明した 316 箇所の対策必要箇所のうち、全体の 76%となる 239 箇所対策が完了予定である。県警でも、歩行者用信号灯器の増設や横断歩道の新設を計画的に進め、令和 7 年 3 月から運用予定の県警アプリでは、通学路の安全に資する情報掲載も検討している。今後とも地元や関係方々の協力を得ながら、安全・安心なまちづくりを推進する。

【質問】津波における非難困難区域（射水市港町）における避難行動要支援者の安全対策

は、市町村と連携し、どのように行うのか。

〈武隈危機管理局長〉現在、射水市では能登半島地震対応の検証委員会を設置しており、県からもオブザーバーで参加している。検証委員会では、自動車避難のためのガイドライン作成や、指定緊急避難場所確保、地区防災計画や「マイ・タイムライン」の作成促進などに、取り組む方向で検討している。県としては射水市を支援し、沿岸市町と情報共有し連携を図っていく。

〔質問〕開園約40年が経過し老朽化が見受けられる「県民公園新港の森」施設等の整備の見通しは。

〈竹内生活環境文化部長〉今年度は、今後10年間の設備修繕や更新などの方針を定める「県民公園新港の森（公園）施設長寿命化計画」を年度内に改定することにしており、現在はそのための調査・研究を進めている。改定後は、公園本来の緩衝緑地としての機能維持や地元市の経済的負担等も考慮に入れながら、優先度の高い施設から順次、修繕等の対策に着手していく。今後の施設のあり方などについては、射水市や高岡市などと意見交換を進めていく。

〔質問〕今年度の富山マラソンの取組みとマイボトルによる補給が出来る給水ポイント設置などを検討してはどうか、所見を問う。

〈竹内生活環境文化部長〉昨大会の教訓から、今回は新たにセルフ給水エリアやかぶり水エリアの設置を行った。セルフ給水は13箇所全ての給水所に設置し、各エリア100名程度のランナーに利用してもらい、紙コップ消費量で約2,600個分の抑制につながった。SDGsの主旨に則り、環境配慮と経済性の両立に向けた歩みを進めることができ、全国サイト「ランネット」においても、ランナーから好意的なご意見や新たな課題を多くいただいたので、今後も質の高いスポーツイベントなるよう努力していきたい。

「産業ビジョン」より
「国際化」を見据えた産業振興について



〔質問〕外国人材活躍・多文化共生推進プランの改訂に掲げる取組みは。その進捗状況と併せて問う。

〈新田知事〉令和元年に策定したプランに基づき、日本人と外国人が共に活躍できる環境整備を進めている。外国人住民数の増加などから外国人住民を取り巻く社会情勢が大きく変化していること、また人口減少や人手不足の問題から多様な人々から成る共生社会構築の重要性が増していることなどを踏まえ、この秋から本プランの改訂作業に向けた準備に着手している。2期目のマニフェストにも条例の制定を入れており、熊本県などの先行事例も参考にしながら体制構築を図りたい。

〔質問〕育成就労制度の施行を控え、外国人労働者の受入れについて今年度の取組状況と課題はどのように進めるのか。

〈山室商工労働部長〉県内企業において外国人材の活用は重要な選択肢となっているが、実情は約8割の企業が受入れを行っておらず、ミスマッチや受入れ・定着に向けた課題が浮き彫りになっている。また、今後創設される育成就労制度転籍要件緩和を受け、都市部への外国人材流出が懸念されている。このような課題に対応するため、マッチング機会の創出、相談体制の充実、研修経費の助成、交流支援事業の推進等の取組みを進め、一部では成果を伴った着実な進展が見られた。今後も企業ニーズの掘り起こし、マッチング支援、定着支援を強化していく。

〔質問〕「富山県総合運動公園」の観客目線による（音響や交通、駐車場などの）利便性向上や施設整備などを行うべきと考えるが、所見は。

〈金谷土木部長〉音響設備については、利用者の声をうかがいながら長寿命化計画に基づく更新を行っている。駐車場対策としては公共交通機関の利用を促しているほか、カターレ富山では試験的に有料化を行う等、収益化に努めて交通警備員の増員に充てたり、追加の駐車場確保を行ったりしたと聞いている。今後も、施設指定管理者やイベント主催者と緊密に連携を取りながら、利便性向上に鋭意取り組んでいく。

〔質問〕低炭素水素等の供給事業者への支援だけでなく、水素エネルギーを利用する意欲企業への支援を充実すべきと考えるが、所見は。

〈山室商工労働部長〉2050カーボンニュートラルの実現に向け、幅広い施策を推進している中で、令和4年度は燃料電池フォークリフトの実証を行い、令和5年度からはその導入に係る補助事業を実施した。令和6年度からは、伏木富山港を水素・アンモニアの受入拠点として活用するための調査・研究を行っており、今後の整備計画につなげていく。水素エネルギーの利活用促進には、水素サプライチェーンを構築する必要があり、県内企業による実証や需要調査が進められているほか、北陸三県で連携・協力して需要創出や供給方法の検討を行うことで合意しており、今後も支援充実に向けて検討を進めていく。

委員長です！

常任委員会（教育警務委員会）では委員長の役を仰せつかっています。委員に発言を促し、活発で開かれた議論になるよう、議長として心がけています。「委員長」の立て札も板に付いてきた、かな？



令和6年12月11日 教育警務委員会
【令和6年11月定例会】

教えて! 県政用語

垂直避難 ▶ P2

地震や津波等の災害が起こった際に、建物又は屋内の2階以上の高さがある場所（上の階）に移動することを指します。

リダンダンシー ▶ P5

「冗長性」「余剰」を意味する言葉で、国土計画上では、災害によって施設等が機能不全に陥らないように、あらかじめライフラインを多重化したり、予備を見ておいたりすることを意味します。

ウェルビーイングを高める ▶ P5

「ウェルビーイング」とは心身ともに「良くある」状態のことを言い、「ウェルビーイングを高める」とは「幸福感を高める」と読み替えてもいいかもしれません。

VR (Virtual Reality) ▶ P5

仮想的な空間を現実であるかのように疑似体験できる仕組みであり、日本語では「仮想現実」と呼ばれます。

GMP ▶ P6

「Good Manufacturing Practice」の略で、「製造管理および品質管理の基準」を指します。とりわけ医薬品業界では、原料の仕入から出荷まで厳しい管理体制が必要とされており、安全で高品質な医薬品を国民に提供するための大切な仕組みです。

オーバーツーリズム ▶ P7

キャパシティ以上の観光客が一定の地域に押し寄せることで様々な障害や弊害が生じる状態のことを指します。道路や交通機関の混雑、トイレ等施設の飽和状態、騒音やゴミの問題や、それによる地元住民との軋轢が挙げられます。

レジリエンス ▶ P7

「困難をしなやかに乗り越え回復する力」という意味から、「回復力」「復元力」「耐久力」「弾力」等と同じ意味で、特にビジネスの世界で最近よく使用されます。

震災の爪痕

2024年2月6日に元 内閣府防災担当大臣の谷 公一衆議院議員が被災箇所を、7月5日に堂故 茂国交省副大臣が新湊地区液状化箇所を視察され、やしまが案内しました。一刻も早い復旧・復興が急務との認識を共有しました。



補欠選挙の実施により、議席が19番から20番になりました!



議長代理の職務



議長の公務が重なった際に、常任委員会委員長のやしまが議長の代理として出席・挨拶をする機会が増えました。



活動記録 CAMERA ROLL

視察

研鑽

交流

R6
2.19

学生さんたちに伝えるよう
「分かりやすく」を
心がけてお話ししてきました！



富山国際大学附属
高等学校
「出前講座」〈富山〉
役所(国県市)議会議員
の仕事や税金の種類・使
い方等を説明しました。

R6
5.10

令和6年度全国日台友好議員協議会総会



全国日台友好議員協議会総会〈愛知県名古屋市〉
台南市議会 邱莉莉議長をご来賓にお迎えし、定期総会が行われました。

教育警務委員会 県外行政視察

R6
7.16



広島県立
広島叡智学園
〈広島〉

調査項目

・特色ある学校づくりについて。



R6
7.17



調査項目

・安全な地域づくりについて。
・民間出身教育長の教育改革について。



広島県議会事務局、広島県警察本部、
広島県教育委員会〈広島〉

R6
7.18



図書館見学



大阪府立水都国際中学校・高等学校

大阪府教育庁〈大阪〉

調査項目

・特色ある学校づくりについて。

R6
7.28-31



富山県日台友好議員連盟「第10回全国日台国際交流サミット in 台湾」〈台湾 台南市〉
歴史や文化・自然が豊かで、人々の温かさ・文化・食、そして日々進化する台南で日台両国の理解と親善を深めました。

自由民主党富山県議会議員会文教公安部会視察

R6
7.10-12



(公財) 福岡県暴力追放運動推進センター 〈福岡〉

調査項目

・ 不当行為の防止への取組みについて。



熊本県教育委員会 〈熊本県〉

調査項目

・ 県立高校の魅力化の取組みについて。
・ 被災した文化財の修復について。

R6
11.12



都道府県議会議員研究交流大会 〈東京〉

共通する政策課題等について情報や意見交換を行いました。

議員サークル活動

文化振興と議員同士の親睦・交流の観点から多くの議員同好会が結成されており、やしまもそのうちの幾つかに所属しています。(議員野球クラブ、議員ゴルフ同好会、書道クラブ、芸術文化クラブ、等)

とりわけ書道は作品展にも出展するほどの腕前!?



やしまの県議会での質問・提言が新聞で取り上げられました！

- ◆「獅子舞の情報 SNS で発信：『獅子舞』も観光資源に
(プランディング特別委員会)」(2月16日付 北日本・富山新聞)
- ◆「『予算特別委員会』委員内定 (県議会)」
(2月29日付 北日本・富山新聞)
- ◆「介護人材確保を問う (予算特別委員会)」(3月16日付 富山新聞)
- ◆「コース変更富山マラソン、地震で被害
(予算特別委員会)」(3月16日付 富山新聞)
- ◆「能登へ観光航路を (予算特別委員会)」(3月16日付 富山新聞)
- ◆「物産展の戦略問う：津波避難所確保のため
民間施設と協定締結 (予算特別委員会)」(3月16日付 北日本新聞)
- ◆「不登校支援手引配布 (教育警務委員会)」(3月22日付 富山新聞)
- ◆「石川の災害 海路で支援：広域観光航路研究：
富山湾の海路を生かせ (一般質問)」(6月18日付 北日本・富山新聞)
- ◆「獅子舞を観光の目玉に：発信と誘客に取り組み
(一般質問)」(6月18日付 北日本・富山新聞)
- ◆「漏水対策でバイパス検討 (一般質問)」(6月18日付 北日本新聞)
- ◆「来年度県立高学級編成 (一般質問)」(6月18日付 富山新聞)
- ◆「教員志願最低 2.0 倍、来年度採用
(教育警務委員会)」(6月27日付 富山新聞)
- ◆「『予算特別委員会』理事内定
(県議会)」(9月11日付 北日本・富山新聞)
- ◆「昨年度学校給食県産食材 23.1%
(教育警務委員会)」(9月28日付 富山新聞)
- ◆「38年度に県立高20校 県教委方針に注文続出
(教育警務委員会)」(11月26日付 富山新聞)
- ◆「伏木富山港計画改定へ 26 年度末環境負担軽減目指す・
通学路の安全確保は (一般質問)」(12月3日付 北日本新聞)
- ◆「新港の森更新が必要だ 港湾計画 26 年度に改訂
耐震改修費事業 (一般質問)」(12月3日付 富山新聞)
- ◆「県立校 Wi-Fi 整備 (教育警務委員会)」(12月12日付 富山新聞)

※全て R6 年掲載分、順不同

数字で見る

やしま浩久の活動と軌跡

定例会での質問数 (一般質問)

令和元年	27	令和 6 年
令和 2 年	16	27
令和 3 年	15	
令和 4 年	26	
令和 5 年	28	

定例会での質問数 (予算特別委員会)

令和元年	0	令和 6 年
令和 2 年	39	12
令和 3 年	36	
令和 4 年	14	
令和 5 年	14	

常任委員会での発言数 (県土整備農林水産委員会)~R5.2

令和元年	18	令和 6 年
令和 2 年	28	-
令和 3 年	21	
令和 4 年	21	
令和 5 年	7	

やしま浩久の
年齢
(R7.1.29 現在)

61

孫の数

2

いいに
なりました

香員長のため

一家業・八島倉庫の歴史

episode

寛政丸航海誌

かつて北前船の往来で栄えた新湊地域。やしま浩久の政治資金管理団体および本紙のタイトルにも使われていた「寛政丸」とは、そんな北前船の主力船の一隻の名前で、同時に現在のやしま浩久の生業でもある八島倉庫のルーツとも言えます。

八嶋家古来の言い伝えによると、「寛政丸」は 600 石の船であり、今で言う 10t トラック 9 ~ 10 台分の物量を積載し運搬していた船です。富山(新湊・放生津)からは鳥取(境港)へ向かうルートと北海道(函館・小樽・余市)へ向かうルートが運航されており、各地の寄港地で米や肥料、薬草、昆布等の海産物・加工品、布や織物等を積みながら、日本海側をくまなく行き来していたようです。

600 石という大きな荷物を、陸路よりも遙かに不安定な海上で運んでいた、当時の船大工の造船技術や船員達の航海技術の正確さには改めて感動させられるばかりですが、現在も寛政当時の思いはそのままに、お客様の大切な荷物を預かり、運ぶ心構えは時代を越えて普遍的なものがあります。

そんな寛政時代の先達に思いを馳せ、どんな荒波にも挫けずひたすら前進する覚悟を、「寛政丸」という名に込めました。「寛政丸」の航海が前途洋々たるものとなるよう、精いっぱい県政に邁進いたします。



いつでも!どこでも!
皆様のお声を聞かせてください!
お気軽に
お声掛けください!



やしま浩久

〒934-0001 富山県射水市庄西町 2-4-16
TEL.0766-92-1613 FAX.0766-92-1633
ホームページ URL <https://yashima1613.jp>

県政報告は動画でもご覧いただけます! E-mail yashima1613@gmail.com

紙は、雷鳥コートを使用しています (R7.2.2 発行)